平成 2 2 年 第 9 回

仙 北 市 農 業 委 員 会 総 会 議 事 録

平成 2 2 年 7 月 8 日 (木) 開 催

仙 北 市 農 業 委 員 会

平成22年 第9回仙北市農業委員会総会議事録

1. 開催日時 平成22年7月8日(木) 午前9時10分

2. 開催場所 秋田内陸線車内

3. 出席委員 (25人)

1番 佐藤 和	2番 新山 昌樹
3番 糸井 淳	4番 藤川 栄
5番 高橋 正美	6番 大山 久雄
7番 山手 善美	8番 田村 博美
9番 千葉 惣永	10番 田村 圭紀
11番 澤田 信男	12番 青柳 良成
13番 布谷 次郎	14番 佐々木 英政
16番 倉橋 重基	17番 佐藤 孝典
18番 伊藤 長三	19番 真崎 純孝
20番 大石 徹治	21番 山本 實
22番 藤村 隆清	23番 高橋 政敏
24番 鈴木 八寿男	26番 藤村 紀章
27番 羽川 正幸	

4. 欠席委員 (2人)

15番 門脇 博美	25番 小松 清紀
-----------	-----------

5. 議事日程

第1 開会宣言

第2 会長挨拶

第3 議事録署名員並びに会議書記の指名

第4 会務諸報告

第 5 議 事

議案第 3 2 号 農地法第 3 条の規定による許可申請に対する可否決定について

議案第 3 3 号 農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見決定について

議案第 3 4 号 農用地利用集積計画に対する意見決定について

議案第 3 5 号 仙北市農業委員会農地パトロール（利用状況調査）実施要領の制定について

議案第 3 6 号 農地法第 3 0 条第 3 項に基づく農業委員会の指導に関する手続きの制定について

議案第 3 7 号 仙北市農地利用状況調査員設置要綱の制定について

その他

第 6 閉 会

6. 事務局職員

事務局長 藤 原 一 良 補 佐 竹 下 義 博

主 任 藤 原 正 輝 主 任 小 木 田 満 洋

7. 書 記

主 任 小 木 田 満 洋

8. 議事録署名員

1 7 番 佐 藤 孝 典

1 8 番 伊 藤 長 三

9. 会議の概要

議長 おはようございます。今日は内陸線を利用しての総会です。前々から計画していたのですが、なかなか実施できず申し訳ありませんでした。この内陸線の存続については、皆さんも色々ご意見あると思いますが、存続している間にいくらかでも利用しようという思いで企画しました。今回は異例の形での総会になりますが、どうかよろしくをお願いします。

議長 それでは、第9回仙北市農業委員会総会を開催します。
本日の総会への出席委員は25名、欠席委員は2名でございます。よって、本総会は、定足数に達しております。

議長 次に議事録署名員並びに会議書記の指名をこちらから指名してよろしいでしょうか。

『異議なし』の声あり

議長 それでは議事録署名員に17番佐藤委員、18番伊藤委員、両名を指名します。会議書記には小木田主任を指名します。本日の会議の日程につきましては、お手元に配布している議事日程に従って進めさせていただきます。ご異議ございませんか。

『異議なし』の声あり

議長 異議なしと認めます。それでは日程4、会務諸報告をお願いします。

藤原局長 《会務諸報告の朗読及び説明》（9時11分）

議長 ありがとうございました。それでは各推薦委員からは議事終了後にお受けしたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。それでは日程5、報告に入ります。報告1の農地専門委員の報告について、

糸井委員長からお願いします。

3 番 糸井 農地専門委員会で農地パトロール等について、転作確認後に行う
ということで約束していましたので、25日に専門委員会を招集し
ました。農地法も改正され、どのようなパターンで実施するのかと
いうことを色々審議しましたが、協議した事項について説明します。
農地利用状況調査について、仙北市農地利用状況調査実施要綱、要
領案並びに、農地法第30条3項に基づく農業委員会の指導に関す
る手続きの規定案について、仙北市農地利用状況調査設置要綱案、
その他ということで農地利用状況調査並びに農地パトロールの日程
について、委員の方々と話し合いをしました。結果、農地パトロー
ルについては会長、職務代理者、事務局の事情に合わせて、事務局
から日程を決めていただくことにしました。また、その他につきま
しては、農業会議書の機動要綱に従ってとり行うということで話が
まとまっております。以上です。

議 長 ありがとうございます。報告1が終わりました。ご意見ご質問
等ございませんか。

『無し』の声あり

議 長 続きまして、報告2に入ります。事務局から説明をお願いします。

竹下補佐 地目変更登記に係る照会に対する回答について、従来非農地で出
ていた部分が、非農地ではないということで、こういう形での報告
ということになっています。地方法務局の大曲局のほうから照会が
あった案件について、事務局長名で回答したということで、総会で
報告することになっています。案件につきましては、所有者が〇〇
地区の〇〇さん。所在地が〇〇、登記簿地目が畑、面積が240.

81㎡という案件です。これについては会務報告でもありましたとおり、6月16日に職務代理者と農地委員長と澤田委員と事務局で現地調査をしております。場所は〇〇から〇〇へ向かう県道から〇〇へ曲がって行くところの、図面で説明いたしますと〇〇となっていますがその場所です。64-1が〇〇さんの宅地で家が建っています。その隣の72-3が登記地目が畑ということで、ここに一部増築してしまったという案件でございます。現地調査につきましては、非農地であるということと、農地に建築物があるということで転用の案件であるということで調査結果としております。現状回復命令を出すか出さないかという旨を県に照会しました。6月21日に聞き取り調査がありまして、県から2名、申請人の代理人として清水土地家屋調査士さんと事務局から私が出席しております。6月29日に現状回復はしないという回答があり、法務局へ回答したところです。現況写真をご覧ください。ポールが立っている奥の場所です。以上が今回の案件でございます。

議長 ありがとうございます。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』の声あり

議長 無いようですので、議事に入ります。議案第32号、農地法第3条の規定による許可申請に対する可否決定を上程いたしますが、利害関係者の退席を求めます。〇〇委員退席をお願いします。

(〇〇委員退席 9時31分)

議長 それでは議案第32号、整理番号1番の説明をお願いします。

藤原局長 議案第32号、農地法第3条の規定による許可申請に対する可否決定について。農地法第3条の規定により、別紙のとおり許可申請

があったので審議のうえ可否を求めるものであります。平成22年7月8日提出。仙北市農業委員会会長、羽川正幸。

小木田主任　それでは議案第32号の整理番号1番について説明いたします。総会資料の2ページをご覧ください。関係農地の所在、〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が1,948㎡他田1筆。合計面積が1,977㎡。3条有償移転の案件でございます。譲渡人が〇〇さん、〇〇地区の方でございます。譲受人が〇〇さんでございます。申請事由につきましては、〇〇さんが〇〇市在住ということもあり、農地の管理が困難。〇〇さんが経営規模の拡大となっております。受入世帯の稼働人員といたしましては、4人家族中3人が農作業従事となっております。売買価格といたしましては、総額100,000円となっております。以上で整理番号1番の説明を終わります。

議　長　説明が終わりました。それでは整理番号1番について現地報告をお願いします。

13番布谷　事務局の説明のとおりでございます。現地を確認してまいりましたが、何ら問題ありませんでした。以上です。

議　長　ありがとうございました。整理番号1番について、ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』の声あり

議　長　無いようですので、整理番号1番につきましては許可を与えることに決定します。田村委員の帰席をお願いします。

(〇〇委員帰席　9時36分)

議　長　続きまして、整理番号1番を除き一括上程いたします。説明をお願いします。

小木田主任 それでは整理番号2番から説明いたします。関係農地の所在、〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が3,503㎡他田7筆。合計面積が16,317㎡。3条無償移転の案件でございます。譲渡人が合資会社〇〇、譲受人が〇〇さん、〇〇地区の方でございます。申請事由といたしましては、合資会社〇〇の解散により旧所有者へ返還。〇〇さんが受贈、となっております。

受入世帯の稼働人員といたしましては、5人家族中3人が農作業従事となっております。整理番号3番から5番につきましては、更新の案件となっておりますので説明は割愛させていただきます。以上で説明を終わります。

議 長 説明が終わりましたので、整理番号2番の現地報告を10番田村委員お願いします。

10番田村 7月1日に、〇〇さんにお会いし話を聞いてまいりましたが、実態の無い夫婦間の合資会社ですので解散し、老後のことを考えて娘さんに譲るということでした。何ら問題はありませんでした。

議 長 ありがとうございます。現地報告が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』のこえあり

議 長 無いようなので、許可を与えることにご異議ございませんか。

『異議無し』の声あり。

議 長 異議無しと認め、よって許可を与えることに決定いたします。

(9時40分)

議 長 続きまして、議案第33号、農地法第5条の規定による許可申請に対する意見決定を上程します。説明をお願いします。

藤原局長 議案第33号、農地法第5条の規定による許可申請に対する意見決定について。農地法第5条の規定により、別紙のとおり許可申請があったので審議のうえ意見の決定を求めるものであります。平成22年7月8日提出、仙北市農業委員会会長、羽川正幸。

竹下補佐 転用の案件について説明いたします。申請地の所在、〇〇。登記簿地目田、現況地目畑、面積が396㎡、権利の設定は使用貸借権の設定でございます。貸し人が〇〇地区の〇〇さん、借りる方が息子さんの〇〇さんです。転用目的につきましては、〇〇さんの一般住宅を建てるため、となっております。転用理由としては、市営住宅に入居していましたが自分の家を新築したいということです。別冊の資料の1ページをご覧ください。場所でございますが、国道〇〇号線、右側に〇〇の社会福祉協議会がありますが、そこから市道に右折して数百メートルのところ。左側に工事中とありますが、これが〇〇号線バイパスです。その側道がありますが、それに隣接している土地でございます。農業振興地域からは除外済の土地でございます。2ページをご覧ください。周辺農地との関係でございますが、59-2が田圃ですが、隣接者からも同意済です。左側が水路と側道となっております。右側が農道、市道です。水利組合からの同意も得ております。3ページに配置図を載せています。建設予定地の右側に合併浄化槽を設置する予定で、右側の水路に流すということでした。4ページと5ページに平面図、立面図を載せていますのでご覧頂きたいと思っております。以上です。

議長 説明が終わりましたので現地報告をお願いします。

3番糸井 7月5日に、〇〇さん、〇〇さんの同意の下確認してまいりまし

た。事務局から説明があったとおりです。周辺農地への排水の点を確認してまいりましたが、水路に問題もなく周辺の人達からも了解を得ているということなのでその旨報告いたします。

議長 現地報告が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』の声あり

議長 無いようなので、議案第33号につきましては許可相当の意見を附して送付することに決定いたします。（9時45分）

議長 続きまして、議案第34号、農用地利用集積計画に対する意見決定についてを上程しますが、利害関係者の退席を求めます。〇〇委員退席をお願いします。（〇〇委員退席 9時46分）

議長 それでは、議案第34号、整理番号6番を上程いたします。説明をお願いします。

藤原局長 議案第34号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画に対する意見決定について。農業経営基盤強化促進法第18条の規定に基づき、別紙のとおり農用地利用集積計画の策定について仙北市長より諮問を受けたので、審議のうえ意見の決定を求めるものでございます。平成22年7月8日提出、仙北市農業委員会会長、羽川正幸。

藤原主任 整理番号6番について説明します。農地の所在が、〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が406㎡。合計14筆で5,554㎡の転賃の案件でございます。所有者が、〇〇さんから農協の方にJAの集積事業ということで10a当たり20,000円の補助を受けるということで、先月ご審議いただきましたが、予定どおり〇〇

さんに貸し付ける案件となっております。利用目的は、水田として。期間は10年間。賃借料が10a当たり20,000円。経営類型といたしましては、稲作と露地野菜で年額111,080円となります。ちなみにJAからの交付金20,000円の内訳ですが、所有者に10,000円。借受者に10,000円という話を伺っております。また、農協といたしましては、手数料として契約料の1%を双方から頂くということでしたので、この案件ですと約1,100円頂くということでした。手数料につきましては、毎年1%を双方から頂くということでした。以上で整理番号6番の説明を終わります。

議長 説明が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』の声あり

議長 無いようなので、整理番号6番につきましてはこの通り策定することにご異議ございませんか。

『異議無し』の声あり

議長 異議無しと認め、よって整理番号6番については適正と認めることに決定いたします。大山委員の帰席をお願いします。

(〇〇委員帰席 9時49分)

議長 続きまして、整理番号7番を上程いたしますが、利害関係者の退席を求めます。19番真崎委員、退席をお願いします。

(〇〇委員退席 9時50分)

議長 説明をお願いします。

藤原主任 整理番号7番についてご説明いたします。こちら先月ご審議いただいた案件を、予定どおり〇〇さんに貸し付ける案件でございます。農地は〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が1,750

m²。合計3筆の面積が3,414 m²でございます。利用目的が水田として。期間が10年間。賃借料が10a当たり18,000円。年額61,452円となっております。以上で整理番号7番の説明を終わります。

議長 説明が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』の声あり

議長 無いようなので、整理番号7番につきましてはこのように策定することに決定いたします。真崎委員の帰席をお願いします。

(〇〇委員帰席 9時52分)

議長 続きまして、整理番号10番を上程いたしますが、利害関係者の退席を求めます。22番藤村委員、退席をお願いします。

(〇〇委員退席 9時53分)

議長 説明をお願いします。

藤原主任 整理番号10番についてご説明いたします。こちらも予定どおり農協から〇〇さんへ貸し付ける案件でございます。農地は〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が878 m²。合計10筆の9,132 m²。利用目的は水田として。期間は10年間。賃借料が10a当たり12,000円。年額109,584円となります。以上で整理番号10番の説明を終わります。

議長 説明が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

『無し』に声あり

議長 無いようなので、整理番号10番につきましてはこのように策定することに決定します。藤村委員の帰席をお願いします。

(〇〇委員帰席 9時55分)

議長 続きまして、整理番号6番、7番、10番を除く案件を一括上程いたします。説明をお願いします。

藤原主任 整理番号1番。所有権移転の案件でございます。農地の所在が、〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が533㎡。合計10筆の5,944㎡となります。移転する方は〇〇さん75才。〇〇地区の方でございます。受けるのは農業公社となります。利用目的は水田として。売買価格は総額1,488,000円。移転時期が平成22年7月15日。支払方法が口座振込。備考といたしまして10a当たり250,000円。買い受け予定者が有限会社にしきとなっております。

関連して整理番号2番、農地の所在が、〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が1,023㎡。合計田10筆、畑1筆の面積が6,998㎡の所有権移転の案件でございます。移転する方は〇〇さんで、整理番号1番の〇〇さんとは親子関係にあります。こちらも農業公社を通して〇〇さんへ移す案件でございます。利用目的は水田として。売買価格は1,749,000円。10a当たり250,000円となっております。

続きまして整理番号3番、同じく所有権移転の案件でございますが、農地の所在が〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が1,045㎡の一筆の案件でございます。移転する方が〇〇さん78歳、受ける方は〇〇さん57歳、なお、この農地は〇〇さんが小作で借り受けている農地でありますので、小作地の買い取りという形になります。利用目的は水田として。売買価格は450,000円。10a当たり430,000で、自己資金で取得する予定です。

続きまして、整理番号4番。農地の所在が〇〇。登記簿地目、現況地目ともに田。面積が761㎡。合計20筆の面積が27,435㎡の転貸の案件でございます。農協を通した案件でございます。予定どおり〇〇さん63歳の方が受けることになっております。利用目的が水田として。期間が9年間。賃借料として10a当たり8,000円。〇〇地区の農地だけ7,000円ということでございます。年額が206,999円でございます。

続きまして整理番号5番。農地の所在が〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。合計4筆の21,441㎡の転貸の案件でございます。こちら農協を通して、予定どおり〇〇さんが借りる案件でございます。利用目的は水田として。期間が10年間。賃借料として10a当たり20,000円。年額428,820円でございます。

続きまして整理番号8番。農地の所在が〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が2,810㎡。合計6筆の19,227㎡の転貸の案件で、予定どおり〇〇さんが借り受ける案件でございます。利用目的は水田として。期間が10年間。賃借料として10a当たり15,000円。年額288,405円となっております。

続きまして整理番号9番。農地の所在が〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が1,140㎡。合計9筆の27,109㎡の転貸の案件でございます。予定どおり〇〇さんに貸し付ける案件でございます。利用目的が水田として。期間が10年間。賃借料として10a当たり21,000円。年額569,289円となっております。

続きまして整理番号11番。農地の所在が、〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が1,869㎡。合計7筆の面積が11,74

5 m²で、予定どおり〇〇さんに貸し付ける案件でございます。利用目的は水田として。期間が10年間。賃借料として10a当たり22,000円。年額が258,390円となっております。

続きまして整理番号12番からは、農協を通さない案件でございます。農地の所在が、〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が470 m²の1筆の新規の案件でございます。所有者が〇〇さん54歳。受ける方が〇〇さん40歳です。利用目的が水田として。期間が5年間。賃借料として10a当たり15,000円。年額7,050円となります。

続きまして整理番号13番。農地の所在が〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が121 m²。合計2筆の165 m²の新規の案件でございます。所有者が〇〇さん76歳。受ける方が〇〇さんです。内容は整理番号12番と同じく、年額が2,475円となっております。

整理番号14番も同じく〇〇さんが受ける案件でございます。農地の所在が〇〇。登記簿地目現況地目ともに田。面積が1,864 m²の新規の案件でございます。こちらはまだ未相続ということで、推定相続人が〇〇さんということで、父親の〇〇さんの名義になっています。内容は先ほどの案件と同じく、年額が27,960円となっております。

整理番号15番からは再設定の案件となっておりますので、説明は割愛させていただきます。以上、利用集積の説明を終わります。

議 長 説明が終わりました。ご意見ご質問等ございませんか。

18番伊藤 推定相続人についてですが、相続時にトラブルが起る場合もあり

得ますし、何事もなく推定相続人が問題ないとなれば、その手続き等の指導などが必要だと思いますが、どうですか。

議 長 これについては、調整会議でも説明しましたが、家庭内の事情がありますのでハンコをもらえないというケースが多いのですが、なるべく早く相続登記は取るようにと事務局からも指導はしています。色々な事情がありますのでこれからもっと増えると思われま。こちらに土地があるが転出している人が多々おりますので、なかなかハンコをもらえないというケースが出てくると思いますので、これからもその点に関しての指導はきっちりしていきたいと思っております。

2 番新山 推定相続人については、事務局だけではなく、我々も指導していかなければならないと思います。

議 長 色々なケースがあるので、この件についてはきっちり指導していかなければならないと思います。他にありませんか。

『無し』の声あり

議 長 無いようなので、整理番号 6 番、7 番、10 番を除く計画については、この通り策定することに決定いたします。（10 時 06 分）

議 長 続きまして、議案第 35 号、36 号、37 号については関連がありますので一括上程いたします。説明をお願いします。

藤原局長 議案第 35 号、仙北市農業委員会農地パトロール（利用状況調査）実施要領の制定について。仙北市農業委員会農地パトロール（利用状況調査）実施要領を別紙のとおり制定するものとする。

議案第 36 号、農地法第 30 条に基づく農業委員会の指導に関する手続き規定の制定について。

農地法第30条に基づく農業委員会の指導に関する手続き規定を別紙のとおり制定するものとする。議案第37号、仙北市農地利用状況調査員設置要綱の制定について。仙北市農地利用状況調査員設置要綱を別紙のとおり制定するものとする。

平成22年7月8日提出。仙北市農業委員会会長、羽川正幸。

竹下補佐

それでは、別冊の資料をご覧ください。議案第35号についてですが、今年の農地法改正で新たに増えた農業委員会の業務です。農地法第30条で年1回、農地の利用状況調査を行うことが義務づけられました。それに伴う利用状況調査実施要領、要綱、指導に関する手続き規定、調査員設置要綱を定めるための審議をお願いするものです。実施要領ですが、第1条が趣旨。農地パトロールを実施して遊休農地の実態調査、発生防止、解消。農地の違反転用の防止対策ということを中心に組み込むということになっています。従来の農地パトロールは当農業委員会でも行っていますが、全農地を対象とした利用状況調査です。第2条が、パトロール月間ということで、8月から11月までを実施期間として定めるものです。内容及び対象につきましては、全農地を対象にして実施する、ということになっております。趣旨の決定ということで、この後のスケジュール等でも説明いたしますが、実施状況を調査するに当たって調査員を設置します。意思統一を図り、全体会議を予定しております。第5条が事前準備ということで、事務局で図面、農地のリストを作成します。調査結果の整理ということで、調査内容について口頭、あるいは文書で通知する。となっています。農地パトロールの部分も含まれていますので、違反転用等につきましても発見した場合はそ

れに応じた対応をしていくとなっています。第7条が方法で、第8条が連絡調整ということで上部団体の農業会議、県庁との連絡を図るということです。附則として、7月8日から実行する。となっています。

議案第36号につきまして、利用状況調査を実施して、遊休農地の発生を確認した場合の手続き規定です。遊休農地対策については基盤強化法で行っていたところが、農地法第30条に定められまして、口頭、文書、通知、勧告、最終的に勧告に従わない場合は県の判断で特定利用権の設定まで移りますけども、その規定として定めるものです。1番として農地法第30条第1項に基づく利用状況調査、パトロールを実施するということです。その内容については、1年以上作物が作付されておらず、今後も作付する見込みがない農地、周辺農地と比較して著しく管理が劣っている場合、というような形になっています。2番は1番の指導事項に当たっての留意事項ということでありまして。遊休農地があった場合については、所有者にその結果を伝えて、指導通知に調査内容、指導内容を記載し通知書を提出することになっています。4番が口頭での指導ということで、同じような内容になっています。指導通知で利用改善が図られない場合は、計画届け書を提出していただくのですが、その前に遊休農地として農業委員会で通知するということになっています。所有者が不確定の場合には、その農地を遊休農地だと公告することになっています。計画書が提出されて期限までその計画が実行されない場合は勧告書を出します。勧告に従わない場合には所有権移転を受ける人を誰にするか、ということの通知を出します。

最後に利用状況調査を実施するに当たっての設置要綱になります。議案第37号であります。目的は利用状況調査を実施するに当たって調査員を置くということです。第4条に調査員の数ということで、27名としています。農業委員に実施してもらいたいということです。各地区ごとに配置しておりますのでよろしくお願いいたします。任期については、委嘱のあった日から年度単位で実施したいということです。8条が調査員の会議の開催。利用状況調査については農地円滑化実施事業で国の補助金を使って調査するというので、補助金の交付決定を受けていますので調査員手当につきましては非常勤特別職の報酬に準じて、活動日数に応じて支払う。というように考えています。この要綱につきましても、承認されれば7月8日から実施したいというように考えています。以上です。

議長 ありがとうございます。我々の権限がかなり強化されたという中で、勧告に至らずに解決できる方法を我々が探すべきではないかなと思います。この件に対してご意見ご質問等ございませんか。

3番糸井 利用状況調査員設置要綱で、地区の割り振りの調査員の人数についてですが、角館町1名となっておりますが角館町の中からもう1人、そこを埋めるような形がやりやすいのでは。

議長 そこは全員が協力するというので、全部を1人に任せるということではないのでよろしくお願いいたします。他にありませんか。

『無し』の声あり

議長 それでは議案第35号、36号、37号について、ご異議ございませんか。

『異議無し』の声あり

議長 異議無しと認め、この3議案については原案どおり制定することに決定いたします。(10時21分)

議長 これで議案は終了しました。各推薦委員から何かあればお受けします。

『無し』の声あり

議長 無いようなので、次に協議に移ります。

竹下補佐 協議に入ります。先ほどの利用状況調査の実施要領から手続き規定、調査員の設置要綱について制定していただきました。実際のスケジュールに移りたいと思います。本総会の前、6月25日に農地専門委員会を開催しております。今日が総会ということで審議いただきました。実施する時期として、8月から11月ということで前段として7月27日に調査員の全体会議を開催したいと思います。ここで、先ほどの調査員の設置要綱でありました各地区割りの中の割り振りをして、担当地区を定めてそこを調査するという形になります。意思統一ということで全体で同じ方法で調査していただくために会議を開きます。事務局で図面を用意しますので、目視で遊休農地である。または、その恐れがあるところを確認してください。転作で蕎麦の作付がまだされていないところもあると思いますが。そこは考慮して長年遊休化しているところは見て分かると思いますので、そこを重点的に全体会議の時に意思統一して状況調査を進めて行きたいと思います。農地パトロールは8月総会の時に実施予定でしたが、8月5日の総会后、大曲で農業委員の研修会がありますので、全体会議を9時頃から実施してその後、農業委員全員での農地パトロールを実施したいと考えております。利用状況調査

の間に水稻の作況状況調査も実施したいと考えております。事務局の案ですが、8月から11月までが利用状況調査の期間ですけれども、できれば8月末に調査員会議を開いて調査結果、進捗状況を報告して頂きたいと思います。最終的には11月に調査員検討会ということで、調査結果、分析と対応ということで、さらに30条第3項の手続き規定まで行くかどうかということになるんですが、そこも含めて検討会を開きたいと思います。補助事業の関係もありますので、2月にも検討会と来年度の計画を立てたいと考えております。以上です。

議長 ありがとうございます。これにつきましては、7月27日の全体会議のときに図面等を参考にして、決めていきたいと思います。スケジュール的なものは一応頭に入れておいていただきたいと思います。

（閉 会）

議長 以上をもちまして平成22年第9回仙北市農業委員会総会を閉会いたします。お疲れ様でした。（10時28分）

上記のとおり会議の顛末を記載し、相違ないことを認め署名する。

平成 22 年 8 月 5 日

議 長 羽 川 正 幸 _____

署 名 員 17 番 佐 藤 孝 典 _____

署 名 員 18 番 伊 藤 長 三 _____